

提出締切：10月10日（木）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 齋藤 弘樹

研修等の名称：南十勝町村議会議員研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

議会のICT化や地方自治体のDX化という言葉を聞くと、なかなか難しいことのように感じてしまいましたが、この研修を経て、実はそうでもないと感じました。まずは現在の不便な部分を解決し、利便性を向上させることから始めていけばいいと思います。特にタブレットを活用してペーパーレス化を進めることができれば、資料の持ち運びや語句の検索が容易になり利便性が大幅に向上します。私も広尾町議会でタブレットをより有効に活用できるように取り組みたいです。私自身、幼い頃からデジタル技術に触れてきました。そのため、このようなデジタル技術の活用を推進していくのは私の役割ではないかと考えています。少しずつ変えていくことから始め、できることを積極的に取り組んでいきたいと思っています。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 大庭 克彦

研修等の名称：令和６年度南十勝町村議会議員研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

今回の研修テーマである「議会改革 議会のＩＣＴ化について」は私が議員として、今後、精力的に取り組んで参りたいと考えていた事項の一つであり非常に興味のある内容でした。

昨今、官民間問わず様々な事業や業務におけるＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）化が提唱されており、デジタル庁の創設とあわせて新型コロナウイルスの影響による在宅勤務やオンライン・リモートによる会議・研修会等の実施体制、実施方法の確立により、企業活動や一般社会活動へのＩＣＴの導入速度は一気に加速化しているものと感じています。

しかしながら、各自治体や議会などの状況をみると、ＩＣＴ化に向けた取り組みの強弱はあるものの、まだまだ業務におけるＩＣＴ化が進んでいない自治体が多く、本町においても同様であります。このような状況を踏まえ、今回の講師である北村純一氏（三重県鳥羽市職員－議会事務局実務研究会員）による議会におけるＩＣＴ化の先進地である鳥羽市議会を始めとする各市町村の取り組み状況等について様々な角度からの講義を頂きました。

この中で特に興味深かったのは、タブレットを使用した「ペーパーレス会議」等の開催やＬＩＮＥなどの連絡ツールを利用した情報の伝達及び共有であり、機器導入にかかる初期投資は必要となるものの、将来的にかかる費用の累計や費やす時間などを考えると十分な投資効果を得られることと、「ペーパーレス」会議や各種連絡、情報の共有に限らず、タブレット等の活用によってＤＸ化に向けて取り組める内容は無限に広がっていく可能性があるとのことでした。

また、自治体や議会業務におけるＩＣＴ化に向けた取り組みについても、最近話題になっているChatGPT（生成ＡＩを活用したチャットサービス）等の積極的な活用による業務の効率化が、社会的に課題となっている労働力不足の解決にも繋がるとのことでありました。

我が国においても、また世界的にも日進月歩で今後ますます社会的なＩＣＴ化が進んでいくと思われ、本町においても運用基準の策定や情報セキュリティ対策など整理する点も種々ありますが、出来るところから早急に着手していくべきであると強く感じたところであります。

今回の研修を機に、本町におけるDXに向けた取り組みの強化とICT化による業務の効率化及び住民サービスの向上に向けて、議員として研鑽を積み、少しでも前に進められるよう努力して参りたいと思います。

以上

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会

提出締切：10月10日（木）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 雄谷 幸裕

研修等の名称：南十勝町村議会議員研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

「議会改革 議会のICT化について」議会事務局実務研究会の北村純一氏の講演を
拝聴しました。
全議員を対象とするタブレット端末の導入は全国町村議会926団体のうち340団体
(36.7%)である。(令和5年7月1日現在) タブレット端末導入のメリットは次のとおり
1. ペーパーレス化 2. 会議開催前に資料配布が可能 3. 資料の携帯性、検索性の
向上 3. 資料の保存場所からの解放 4. 資料のカラー化、資料の拡大化が自ら
できる 5. 環境への配慮(SDGs) 6. コスト削減 7. 職員の負担軽減
議会DXを進める上で肝要なことは、セキュリティとコンプライアンス対策である。
1. 人為的なミスの懸念 2. バックアップなしでのデータ全消去 3. 常にアップデート
していないため、セキュリティホールへの攻撃の可能性 4. セキュリティ上問題がある
アプリ等のインストール 5. タブレットの紛失、盗難、故障 6. ロック解除不可
7. フリーWi-Fi使用による情報漏洩
DX成功への6か条は次のとおり 1. タブレット端末導入を目的化しない(どう使っ
たら便利になるか考える) 2. 使わざるをえない「仕掛け」が必要(オンライン議会など)
3. できることから始める(何から進めていくか、何を進めるか) 4. 不慣れな議員への

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。(この用紙をPDFデータにして掲載します。)

提出締切：10月10日（木）

広 尾 町 議 会

No. 2

サポート体制の構築 5. 使い方のルール化(色々な事を想定する) 6. 町部局の力を
借りる(人的支援、共同で導入していく)

DXとは、デジタル技術によって人々の生活をより良い方向へ変えていくことであるの
で、町部局のDXが進行していない状況を打破するため、町村議会デジタル技術事例集、
管内の先進町議会を参考にして議会のデジタル化を進めたいと思います。

そのためには、スタートするまでの計画段階、準備段階、実装段階の年次計画の策定
が必要であると考えています。

広尾町議会 研修レポート

議員名 山 岸 謙 一

研修の名称 : 南十勝町村議会議員研修

演 題 :『議会改革 議会の ICT 化について』

三重県鳥羽市職員の北村純一氏を講師に迎え、同氏が議会事務局在職時にタブレット端末を活用した議会改革についてお聴きした。

○講演内容は次のとおりである。

- ①本会議・委員会の資料等のペーパーレス化について。
- ②議会スケジュール等の調整・管理について。
- ③タブレット端末の導入の手順について。
- ④先進地議会のデジタル化の事例 etc。

以上の説明を受け、議会のデジタル化の必要性・利便性は理解したが、紙の資料等に慣れてきた者にとっては不安要素も多く感じた講演でもあった。

提出締切：10月10日（木）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 松田 健司

研修等の名称：南十勝町村議会議員研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

9月26日 本町にて開催された「議会改革 議会のICT化について」と題した講演会に参加した。
かねてより本町行政サービスのICT化や、ライフラインを含む行政システムのDXに対する意欲が感じられる。
議会での議論が盛んであるが、今後のデジタル化の進捗が「現実」であり、興味深く拝聴した。
デジタル技術の導入は、推進にあたり、「デジタル」が「ICT化」→「DX」とスラップを繰り返すのが望ましいが、本町では、既に「デジタル」の所定を踏まえている状況であり、
IT（デジタル情報通信技術）の普及は機器、OS、ソフトのアップデートを進めること、
管理職人材の意識改革が早急に望まれる所であり、ライフラインのアップデートを、
含めて早急に進める必要がある。日本全体の人口が将来的に減り続ける、世界線が
やがて、本町の人口が4000人を割り込む10年後に、ライフラインの維持とコミュニケーション
機能の継続を可能にするためには、自治体基礎システムをDX化させること、
新業務の効率化（少ない職員で、サービスの提供が可能）、が必要であり、
町民生活の向上を為す進め方については、ニルカサの議員活動の中で
粘り強く取り組んで行きたい。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

広 尾 町 議 会

提出締切：10月10日（木）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 萬亀山ちず子

研修等の名称：南十勝町村議会議員研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

北村純一先生の講演

三重県鳥羽職員で元議会事務局議事係長を勤めていた北村先生のお話はICT・DXをわかりやすく聞きやすかった。この数年、コロナ禍により多くの企業は本格導入しテレワークは、働き方改革の一つであったと思う。書類が入った重たい鞆を持つての議会の会議は大変です。議会もテレワークとは言わないがタブレットの導入は賛成です。直ぐに取り組みは予算面で町部局との折衝が難しいとも思われる。先生は簡単なことからとり組むことが大事であり、進んでみようかということも考えたらどうか。そして個人的には使用しないというルール化も必要であるということでした。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

提出締切：10月10日（木）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 前 崎 茂

研修等の名称：南十勝町村議会議員研修会

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

「議会改革 議会のICT化について」鳥羽市健康福祉課

副参事 北村純一氏（議会事務局実務研究会）

1. 口及の地方自治体のDXの動向

2000年～2020年間の推移、2000年IT基本法、2018年IT国家創造宣言、2020年DX推進計画を策定したが、国際的には19年23位から32位へ低下、日本は遅れているとあることである。

2. 議会DXの変遷（自治体間の格差がある。）

会議録検索システム、電子採決も進んでいる議会もある。

普及期としてインターネット放送は4月にも数年前から導入しているが

タブレット、ペーパーレス、PDF情報発信はあまり遅れている。計画的な導入を検討する必要がある。

3. 議会DXの所要：議会DXに必要なセキュリティとコンプライ

アンスの対策をしっかりと取り組む、とくにDXでのヒューマンエラーを防

ぐることが必要である。導入の際には、しっかりと使い方のルール

を徹底することが、体系的に必要なと思われる。大変参考になったところである。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。（この用紙をPDFデータにして掲載します。）

提出締切：10月10日（木）

広尾町議会 研修レポート用紙

議員名 山谷 照 夫

研修等の名称： 南十勝町村議会議員研修会 於 大樹町生涯学習センター
オークホール

○今回の研修を受講しての感想等をご記入ください。

演 題 「議会改革 議会のICT化について」 講 師 三重県鳥羽市職員(元議会事務局議事係長) 北村 純一様
現実あらゆる社会では、パソコン、スマホ、タブレットなどのデジタル技術によるICT活用が進む中、地方議会や自治体でも利便性、効率化、高度化等が図られるため、従来の紙媒体から「ペーパーレス化」や「行かない書かない窓口」などDX(デジタルトランスフォーメーション)推進の先進事例が全国的に見受けられる。
議員向けタブレット端末などのDX導入に当たっては、その必要性や重要性、効果性また、SDGsの一環である事を認識した上で、議会DXが進んでも使うのはヒトであるため、セキュリティやコンプライアンス対策として、運用における使い方の「一定のルール化」などが求められると考える。
最も重要な事は、議会DXのタブレット導入は手段であって、目的ではないとのことから、使って行って便利であるが、デジタルアレルギー払拭のアレルギーフォローが大事であることを再認識することができた。
今後、事務局の職員や執行部(担当者)等の力を借りる事もあり得るが、何から可能なのか。そして、「出来ることから始める」ことが最重要である。
研修会は「わかり易く」、DXの動向、変遷、肝要等を学べる機会に感謝したい。

※提出いただいたレポートは、町ホームページに掲載することとしていますので、ご了承ください。(この用紙をPDFデータにして掲載します。)

広 尾 町 議 会